

豊田工業高等専門学校					特別活動（5学科共通）								開講年度				平成29年度（2017年度）											
学科到達目標																												
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分					
						1年				2年				3年				4年						5年				
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後		
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q	
一般	必修	特別活動Ⅱ	00002	履修単位	1																	長岡 美晴, 三浦 大和, 高村 明, 加藤 貴英, 水口 陽子						
専門	必修	特別活動Ⅲ	00003	履修単位	0																	浅井 一仁, 西 一澤, 村田 匡輝, 佐藤 雄哉, 前田 博子						

長岡美晴,三浦大和,高村明加,藤貴英,水口陽子

浅井一仁,西澤一村,田匡輝,佐藤雄哉,前田博子

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	特別活動Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	00002		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	活動		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	特別活動 (5学科共通)		対象学年	2			
開設期	通年		週時間数	1			
教科書/教材							
担当教員	長岡 美晴,三浦 大和,高村 明,加藤 貴英,水口 陽子						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	クラス役員決め 前学期目標設定				
		2週	キャリア教育支援プログラム「目標設定・確認講座」 学年目標				
		3週	特別講演「インターネットの危険」				
		4週	こうよう祭クラス展について 「こころと体の健康調査」				
		5週	交通安全講習会				
		6週	学年集会：試験勉強のアドバイス				
		7週	生活リズム点検				
		8週	中間試験の諸注意				
	2ndQ	9週	前学期目標の振り返り チェックリストの振り返り				
		10週	安全を誓う日 高専体育大会壮行会				
		11週	キャリア教育支援プログラム：今の私・卒業後の私				
		12週	情報セキュリティ宣誓書				
		13週	夏休みの諸注意				
		14週	生活リズム点検 試験準備チェックリスト				
		15週	定期試験の諸注意				
		16週	前学期目標の反省 後学期目標の設定				
後期	3rdQ	1週	環境美化作業				
		2週	避難訓練				
		3週	第1回スキー説明会				
		4週	クラス展の準備				
		5週					
		6週	クラス展の反省				
		7週	生活リズム点検				
		8週	中間試験の諸注意				
	4thQ	9週	キャリア教育支援プログラム：人間力講演会				
		10週	後学期目標の振り返り 生活リズム点検				
		11週	冬休みの諸注意				
		12週	新年を迎えて				
		13週	生活リズム点検				
		14週	2月の予定について				
		15週	第2回スキー説明会				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	後4
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前1,後4
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前1,後4
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	後4
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	前3,前12
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	前3,前12
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	前3,前12
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	前9,後10
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	後4
				自らの考えで責任を持つものごとに取り組むことができる。	3	後4
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	前1,前16
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前9,前16,後10
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前7,前14,後10,後13
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前4,後3,後15
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	前4,後4
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	3	前2
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	後9
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	後9
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	後9
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	後9
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	後9

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	特別活動Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	00003		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	活動		単位の種別と単位数	履修単位: 0		
開設学科	特別活動 (5学科共通)		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	特に指定しない					
担当教員	浅井 一仁,西澤 一,村田 匡輝,佐藤 雄哉,前田 博子					
到達目標						
将来の目標を明確にしていくために、卒業生の体験談を聞き、知識の幅と視野を広げる。また、どのような人材が社会で求められているかを考えるため、企業の方の講話を聴く。将来の進路としてどのような仕事があるのかを調べるとともに、会社の方と懇談する。将来を意識しながら、知識や経験を深めていく努力を行う。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
主体的に、周囲の状況を意識する	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。		の立場に照らし、必要な行動について知っている。		の立場に照らし、必要な行動について知らない。	
未来志向性・キャリアデザインを意識する	自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。		たい姿(キャリアデザイン)を考えたことがある。		たい姿(キャリアデザイン)を考えたことがない。	
企業の社会的責任を意識する	企業には社会的責任があることを認識している。		企業等における技企業には社会的責任があることを聞いたことがある。		企業等における技企業には社会的責任があることを知らない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	今年度は、昨年度の反省や周囲からの助言を踏まえて、より将来の進路について明確にしたい。そのために、社会人、卒業生から具体的な進路の情報を聞く機会を設ける。またこれまでと同様に、学校行事などにおいて、クラスメートや先輩や後輩とのグループ作業を通して、議論や作業ができるような心の広がり、視野の広がりを目指す。					
授業の進め方・方法	将来の仕事の種類について、自ら調べ発表する機会を設ける。会社の方から、企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動について学ぶ機会を設ける。さらに卒業生の現在の状況を卒業生自ら講話する機会を設け、将来像が明確になることを目指す。					
注意点						
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	クラス役員決め 前学期目標設定		クラス役員決めを行い、前学期目標について設定する。 主体的に、周囲の状況を意識する。	
		2週	諸事項連絡 個人面談日程確認		個人面談日程について確認する。	
		3週	キャリア教育支援：目標設定・確認講座		キャリア教育支援：目標設定・確認講座を行う。将来のありたい姿を意識する。	
		4週	Tファイルについて		Tファイルについて有効利用するように再確認を行う。 現状を理解し、将来のための学習や活動を考える。	
		5週	3年生の心構えについて1（指導教員講話）		3年生の心構えについて1（指導教員講話）を行う。	
		6週	伝達事項		伝達事項およびアンケート作業があれば同時に行う。	
		7週	キャリア教育支援：社会が求める人材講演会		キャリア教育支援：社会が求める人材講演会を行う。 困難に直面した場合の対処について考える。	
		8週	講演会の感想		講演会の感想を確認する。	
	2ndQ	9週	環境美化作業		環境美化作業を行う。環境整備への意識を高める。	
		10週	安全を誓う日 高専体育大会壮行会		安全意識を再確認する。	
		11週	3年生の心構えについて2（指導教員講話）		3年生の心構えについて2（指導教員講話）を行う。	
		12週	伝達事項		伝達事項およびアンケート作業があれば同時に行う。	
		13週	生活リズム		生活リズムの重要性について確認する。	
		14週	定期試験の注意確認		定期試験の注意確認を行う。	
		15週	夏休みの注意		夏休みの生活について確認する。	
		16週	伝達事項		伝達事項およびアンケート作業があれば同時に行う。	
後期	3rdQ	1週	後学期目標設定		後学期目標について設定する。	
		2週	避難訓練		避難訓練の重要性を再認識する。	
		3週	キャリア教育支援：キャリアプランニング		キャリア教育支援：キャリアプランニングを行う。将来の自分の姿について考える。	
		4週	3年生の心構えについて3（指導教員講話）		3年生の心構えについて3（指導教員講話）を行う。	
		5週	伝達事項		伝達事項およびアンケート作業があれば同時に行う。	
		6週	同窓会講演会		同窓会講演会を行う。学んだ知識等が社会でどのように生かされているか考える。	
		7週	講演会の感想		講演会の感想について確認する。	
		8週	伝達事項		伝達事項およびアンケート作業があれば同時に行う。	
	4thQ	9週	キャリア教育支援：今の私・卒業後の私		キャリア教育支援：今の私・卒業後の私を行う。企業活動について考える。	
		10週	3年生の心構えについて4（指導教員講話）		3年生の心構えについて4（指導教員講話）を行う。	

		11週	キャリア教育支援：今の私・卒業後の私	キャリア教育支援：今の私・卒業後の私を行う。企業活動について考える。
		12週	冬休みの注意	冬休みの生活について確認する。
		13週	生活リズム	生活リズムの重要性について確認する。
		14週	キャリア教育支援：しごとガイダンス	キャリア教育支援：しごとガイダンスを行う。企業活動および将来の自分の姿について考える。
		15週	定期試験について	定期試験について確認する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	前1
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前4
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	前1,前4,後3,後14
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	3	前3,前4,後14
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	前7,後14
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	前7,後14
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	3	後6,後14
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	後9
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	後9
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	後9
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	後9
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているかを説明できる。	3	後9
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	後9
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	後9
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	前7
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	前7
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	前7
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でのように活用・応用されているかを認識できる。	3	後6
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	後6
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	後6

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	70	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	70	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0